

合同学術総会

第19回化学生物総合管理学会 第16回社会技術革新学会

知の市場 協賛

日時：2022年9月1日(木) 19:00～23:30

会場：オンライン開催 (Zoom meeting)

一般発表 「精神障害者保健福祉手帳」を普及・活用しやすくするために何が必要か

細谷美久 (前放送大学学生)

特別講演 近代石油産業史の総括—石油産業が形成した世界史の展開

須藤繁(石油学会会員・前帝京平成大学教授)

職場環境の化学物質リスク管理

—自律的管理の重要性と経皮ばく露のためのリスクアセスメント

石井聡子(東京工業大学非常勤講師・元化学物質評価研究機構部長)

《参加方法》

★参加資格:学会の会員以外の方の参加も大歓迎です。

★参加登録:事前登録制です。参加希望の方は、①参加者氏名(フリガナ)、②所属(勤務先等)を明記のうえ、

8月15日までにE-mail (kagakus * cbims.net) 宛てにお申し込み下さい。

なお、定員に達し次第、締め切りますので、お早めにお申し込みください。

★参加費

学会員の方:参加は無料です。

非会員の方:参加費は1,000円です。以下の口座に、8月15日までに振込み下さい。この期日までに振り込みが確認できなかった場合には、参加登録は自動的に取り消しになります。

みずほ銀行飯田橋支店,普通口座 2329303, 口座名 特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

※1 振込の際は、必ず参加者カナ氏名を振込み人名義として下さい。振込手数料はご負担下さい。

※2 出欠にかかわらず、一度振り込まれた参加費の返金はいりませんので、予めご了承ください。

※3 領収書は発行いたしませんので、振込時のご利用明細票をご活用ください。

★参加証:振込の確認ができたのち、開催日前日までに、登録いただいたメールアドレス宛にメールにてお送りいたします。参加証にてオンライン学術総会のミーティング情報(Zoomに接続するための情報)のご案内をいたします。

化学生物総合管理学会 社会技術革新学会

合同学術総会

第19回化学生物総合管理学会 第16回社会技術革新学会 知の市場 協賛

■ プログラム ■

2022年9月1日(木)

時間		発表者(敬称略)・所属
19:00	開会挨拶	増田 優 化学生物総合管理学会会長 社会技術革新学会会長 知の市場会長
特別講演		
19:00~20:30	近代石油産業史の総括—石油産業が形成した世界史の展開	須藤 繁 石油学会会員 社会技術革新学会会員 化学生物総合管理学会会員 前帝京平成大学教授
19世紀米国で始まった近代石油産業は、1950年代には一次エネルギー供給の中心となり、1960~2010年代は量的拡大を通じ、世界経済の成長を支えた。その一方で石油は様々な戦争の原因となった。1990年代には石油の終焉が取りざたされたものの(石油ピーク)、シェール革命により、石油時代は延長された。しかしながら、地球温暖化対策のための脱炭素政策により、化石燃料の利用は終焉せざるを得ない。世界はいかに石油時代を終息させるか、資源制約、環境制約、社会制約等の要素から論じる。		
一般発表		
20:30~22:00	「精神障害者保健福祉手帳」を普及・活用しやすくするために何が 必要か	細谷美久 前放送大学学生
精神疾患の症状固定が起きた時に取得可能な「精神障害者保健福祉手帳」という制度がある。これにより障害者の生活向上が可能だが、使いこなせる障害者が少数であるため、その理由を考える。制度の歴史や要件を提示し、有用な所を探る。その上で制度が活用されていない理由と、普及・活用のために必要な事項を探る。		
特別講演		
22:00~23:30	職場環境の化学物質リスク管理 —自律的管理の重要性和経皮ばく露のためのリスクアセスメント	石井聡子 東京工業大学非常勤講師 放送大学非常勤講師 化学生物総合管理学会会員 元化学物質評価研究機構 評価 事業部 部長
労働安全衛生法の化学物質対策は法令の仕組みを大きく変え、事業者による危険有害性情報の伝達・提供とリスクアセスメントがよりいっそう重視されようとしている。また、今までの職場環境における化学物質管理は吸入ばく露に重点が置かれていたが、昨今の事故を踏まえて経皮ばく露対策が重視されるようになった。本講演では、職場環境の化学物質リスク管理における自律的管理の重要性について解説するとともに、国際動向を踏まえた経皮ばく露のためのリスクアセスメントと管理の方法の現状から現時点で実施できる経皮ばく露対策と解決すべき課題について述べる。		

題名、発表順は都合により変更になる場合があります。

プログラム詳細は、化学生物総合管理学会 (<http://www.cbims.net/>)または社会技術革新学会 (<http://s-innovation.org/>)のホームページを参照下さい。